

民事司法制度改革推進に関する関係府省庁連絡会議（第2回）議事要旨

1 日時

令和2年1月20日（月）15：45～16：15

2 場所

中央合同庁舎8号館8階特別中会議室

3 出席者

○ 議長

和泉洋人内閣総理大臣補佐官

○ 副議長

古谷一之内閣官房副長官補

○ 構成員

朝倉佳秀内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付）兼法務省大臣官房付

風木淳内閣官房日本経済再生総合事務局次長

三又裕生内閣府知的財産戦略推進事務局長

橋本次郎消費者庁政策立案総括審議官 ※代理出席

古田康輔法務省大臣官房サイバーセキュリティ・情報化審議官 ※代理出席

丸山嘉代法務省大臣官房司法法制部司法法制課長 ※代理出席

小出邦夫法務省民事局長

松浦博司外務省経済局審議官 ※代理出席

今里讓文化庁次長

保坂伸経済産業省貿易経済協力局長

松永明特許庁長官

○ オブザーバー

村田斉志最高裁判所事務総局総務局長

篠塚力日本弁護士連合会副会長

4 議事要旨

(1) 冒頭挨拶

- 議長から、昨年4月の本連絡会議の立上げ以降、国際化する社会の中における民事司法制度のあるべき姿について、幹事会において、有識者の意見を踏まえ議論を重ねてきたところ、今般、取りまとめ骨子（案）がまとめられたので、本日は、これについて御意見をいただきたい旨冒頭挨拶がされた。

(2) 本連絡会議の取りまとめ骨子について

- 朝倉内閣官房内閣審議官から、資料1に基づき、取りまとめ骨子(案)の概要について説明がなされ、連絡会議における取りまとめ骨子とすることが諮られた。
- 出席者から、資料1の内容について特段の異論は出ず、原案どおりとすることが了承された。

(3) その他

- オブザーバーである篠塚日本弁護士連合会副会長から、これまでの関係者の尽力に謝意が述べられるとともに、引き続き、日本弁護士連合会の要望も踏まえた取りまとめに向けて、関係者の議論を期待する旨発言があった。
- 議長から、今年度中の取りまとめに向けて、引き続き検討を進めるとともに、しっかりと施策を前に進めてほしい旨発言があった。

以 上